

最高の仲間たちに出会えて

第5期生 石崎 克典

「どうしてそんなにゼミをがんばれるんだよ。」

生活の大半が小野ゼミだった私に多くの友人がこう尋ねてきた。その時は恥ずかしくて「わからない。」と答えたが、本当のことを言えば、間違いなく「最高の仲間たちがいるから。」である。仲間たち、つまり一緒に毎日をお過ごした小野ゼミのみんながいたから今日までがんばってやってくることができたし、非常に楽しい2年間をお過ごすことができたのだと思う。

本当にみんなのおかげで充実した2年間を送ることができた。グループワークであれほど真剣に意見をぶつけ合って、本番でうまくいったら、心から喜んで、うまくいかなかったら、心からへこんで・・・こんな生活が大学で経験できるなんて思ってもいなかった。初めてのコンビニのケース、自分が作り意外と評判の良い先発後発のディベート、自分のせいで惨敗してしまった広告のディベートなどなど、すべてのケース、すべてのディベートが思い出深い。また、ゼミ活動に疲れちゃったときには、みんなで遊んだのも思い出深い。ゼミの帰りにちからやで思う存分肉を食ったり、田町ハイレーンで球を転がしまくったり、飲み会でお酒を飲んで大騒ぎしたり（あ、あの時は大変ご迷惑をおかけしましたが）、卒業記念にグアムに行って、いろんな初体験したり・・・思い出は尽きません。きっとどのケースやディベートもみんなとやらなかったら燃えなかっただろうし、飲みやグアムもみんなと一緒にだったから楽しかったんだろうと感じています。

また、先生には感謝してもしきれません。寝る間も惜しんで、へたくそすぎる日本語が闇雲に並べられた論文を添削していただいたり、納会のための部屋を提供していただいたりと、本当に私たちと近い位置で親身になってご指導していただけたことに心から感謝しております。ありがとうございました！！

最後になりますが、ゼミを選ぶ年に先生が帰っていらっしゃって小野ゼミを再開してくださったこと、みんなが小野ゼミを志願したこと、そしてその小野ゼミの一員として私がいたこと——このすべての偶然に感謝したい。

こんなこと言うのはキャラ違いかもしれないけど・・・
みんな大好きよー！！



著者が先生に一気飲みを強要した2008年三田祭打上げ